

県内中小企業(製造業)景況動向

平成24年4月～6月期

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲11.3	7.8	▲5.8	▲4.3

前年同期比の売上高DIは▲5.7、収益性DIは▲5.8で、両方を合わせたDI平均値は▲5.8となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、1.5ポイント上昇して▲4.3となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高DIは▲14.3、収益性DIは▲9.1となった。

また、雇用人員判断DIは▲3.0、設備操業率DIは0.0、設備投資実施率は17.6%となった。

繊維・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲32.3	▲1.2	▲20.1	▲21.5

前年同期比の売上高DIは▲17.2、収益性DIは▲22.9で、両方を合わせたDI平均値は▲20.1となり、「小雨」模様に転じている。来期見通しは、1.4ポイント下降して▲21.5となり、「小雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高DIは17.2、収益性DIは▲25.9となった。

また、雇用人員判断DIは▲7.7、設備操業率DIは▲23.1、設備投資実施率は8.8%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(前年同期比)については▲9・6となり、前回調査(24年1-3月期)から2・3ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲16・2となっている。

売上高DI(前年同期比)については▲9・7となり、前回から8・1ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲13・2となっている。

設備操業率については、前期比で「上昇」したとする企業が13・1%「下降」したとする企業が

16・7%で、DIは▲3・6となり、前回から2・1ポイント上昇している。

収益性DI(前年同期比)は▲9・4となり、前回から3・6ポイント上昇している。来期見通しにおいては、▲19・2となっている。

業況(前年同期比)は、「好転」したとする企業は16・3%「悪化」したとする企業は28・7%で、DIは▲12・4となり、前回から1・2ポイント下降している。来期見通しにおいては、▲14・5となっている。

原材料価格DI(前期比)については6・8となり、前回から

17・0ポイント下降している。販売価格DI(前期比)は▲9・6となり、前回から2・5ポイント下降している。

資金繰りDI(前期比)は▲8・4となり、前回から3・4ポイント下降している。

金融機関の態度DI(前期比)は1・0となり、前回から0・5ポイント下降している。

設備投資実施率は18・5%となり、前回から5・1ポイント下降している。業種別で最も高い実施率となったのは「機械・機器」の34・9%となっており、目的別では「増産」が35・1%でトップであった。

紙・加工品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲23.7	▲50.0	▲28.8	▲38.9

前年同期比の売上高D Iは▲38.8、収益性D Iは▲18.8で、両方を合せたD I平均値は▲28.8となり、「小雨」模様に変じている。来期見通しは、10.1ポイント下降して▲38.9となり、「雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは11.1、収益性D Iは▲5.5となった。

また、雇用人員判断D Iは▲16.7、設備操業率D Iは11.1、設備投資実施率は5.6%となった。

木材・木製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲16.7	▲9.1	▲50.0	▲40.9

前年同期比の売上高D Iは▲45.4、収益性D Iは▲54.5で、両方を合せたD I平均値は▲50.0となり、「雨」模様に転じている。来期見通しは、9.1ポイント上昇して▲40.9となり、「雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲9.1、収益性D Iは▲45.5となった。

また、雇用人員判断D Iは▲10.0、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は0.0%となった。

金属・同製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲12.0	▲12.1	15.8	▲4.4

前年同期比の売上高D Iは18.4、収益性D Iは13.2で、両方を合せたD I平均値は15.8となり「薄日」模様に転じている。来期見通しは、20.2ポイント下降して▲4.4となり、「曇」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲13.9、収益性D Iは▲11.1となった。

また、雇用人員判断D Iは▲14.8、設備操業率D Iは▲4.0、設備投資実施率は21.1%となった。

窯業・土石製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲44.8	▲23.8	▲42.5	▲45.0

前年同期比の売上高D Iは▲55.0、収益性D Iは▲30.0で、両方を合せたD I平均値は▲42.5となり「雨」模様に転じている。来期見通しは、2.5ポイント下降して▲45.0となり、「雨」模様が続く見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲45.0、収益性D Iは▲53.3となった。

また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は15.0%となった。

プラスチック製品

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
▲40.0	50.0	10.0	20.0

前年同期比の売上高D Iは0.0、収益性D Iは20.0で、両方を合せたD I平均値は10.0となり、「薄日」模様に転じている。来期見通しは、10.0ポイント上昇して20.0となり、「薄日」模様が継続する見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲40.0、収益性D Iは▲20.0となった。

また、雇用人員判断D Iは0.0、設備操業率D Iは▲20.0、設備投資実施率は20.0%となった。

機械・機器

10-12	1-3	4-6	来期見通
			
5.7	▲1.1	4.6	▲6.8

前年同期比の売上高D Iは9.1、収益性D Iは0.0で、両方を合せたD I平均値は4.6となり「曇」模様が継続している。来期見通しは、11.4ポイント下降して▲6.8となり、「小雨」模様に転じる見通しになっている。なお、前期比の売上高D Iは▲2.2、収益性D Iは▲5.2となった。

また、雇用人員判断D Iは13.1、設備操業率D Iは10.8、設備投資実施率は34.9%となった。